

集中型換気装置 LWZ-100Plus RE/LI JP

本紙は、付属の取扱取付説明書を補足するものです。どちらの説明書も使用前によくお読みになり、記載事項をお守りください。また、大切に保管してください。



指示

物的損害のおそれ

本機器の質量は、約 36kg あり、天井内に吊り下げる取り付けとなります。取り付け時の作業ミス避けるため、リフターなどのご利用をおすすめ致します。



注意

本機器は、必ず断熱された空間に設置してください。

また、ブローイング等の断熱材への埋設ができませんので、設置する建物の断熱方法をご確認ください。



注意

天井下地を組む場合、ダクト接続のある側は、本機器外周から 200mm 以上逃げてください。

また、機器本体の設置必要高さとして、天井フトリム内の有効高さが 300mm 以上必要となります。離隔距離については、付属の取扱取付説明書の 10.2.2 項も参照ください。



注意

付属の取扱取付説明書の 12.2 項、12.3 項、12.4 項、13 項などに記載のある、『整備用ソフトウェア』については、当社から提供いたしませんので、ご了承ください。『専門業者によるパラメータ変更』についても、対応致しかねますのでご了承ください。

また、9.3 項『外付けの凍結防止ヒーター』、17.5 項『A4 暖房モード(オプション)』につきましても、ご用意はできませんのでご了承ください。



注意

付属の取扱説明書は 17.6 項、17.7 項において、風量仕様値が記載されておりますが、本機器は納品の際にお客様の環境に合わせ、風量レベル 1・2・3 に対して個別の風量値を調整・設定しておりますのでご了承ください。



注意

付属の取扱取付説明書の【11.4 項 機器を天井から吊り下げる】については、下記のように内容の差し替えをお願い致します。

11.4 機器を天井から吊り下げる

(1) 付属の穴あけ用テンプレートもしくは、本機器外形図の寸法より、吊ボルトの位置出しを行います。

(2) 機器設置用の吊ボルトとナット類は、施工者様にてご準備願います。

- 吊ボルト： M10 x 4 本 - ナット： M10 x 12 個 - ワッシャ： M10 x 8 個

(3) 吊ボルトを使用し、建物構造に応じて取り付けください。

※既設構造による取り付け方法

- コンクリートスラブへの取り付け： インサート金具を使用してください。
- 鉄骨構造への取り付け： ハンガーボルト等を用いて、既設アングルに支持用アングルを、設置ください。
- 木造への取り付け： 梁等の構造体を利用し、アングルを渡して設置ください。

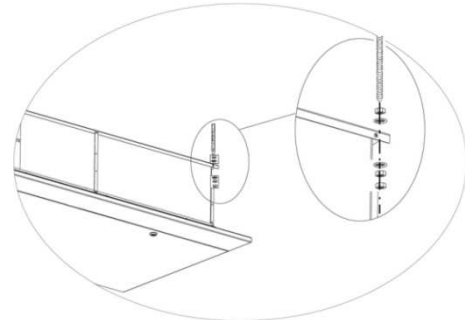
(4) 吊ボルトにナットを取り付けます。

※本機器が水平になるように、ナットの高さをあらかじめ調整してください。

(5) 本機器の吊金具にワッシャを上下に挟み込み、ナットで締結してください。

※ボルト抜け防止のため、吊金具下側のナットは、ダブルナットとしてください。

※吊ボルトに防振材を入れる場合は、本機器の振動が大きくなることを確認して設置ください。



長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

<本機器への表示内容>

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本機器に表示しています。

<設計上の標準使用期間とは>

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(下表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。本機器の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし JIS C 9921-2 に基づいて下表の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。

○「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準使用条件 JIS C 9921-2による

環境条件	電圧	単相 100V	定格電圧による
	周波数	50Hz および 60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603 から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気 8760時間/年	



【製造年】 年
【設計上の標準使用期間】 10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

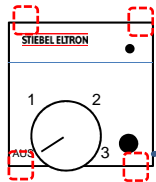


付属の取扱取付説明書の【11.7.1 項 リモートコントロール】については、以下の手順を参考にしてお取り付けください。

尚、標準的な住宅用スイッチボックスを用いる場合、オプション販売品のリモコン用プレートをご準備頂くことで、取り付けを容易に行うことができます。

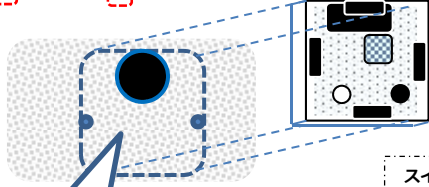
図中にある、M4 ネジ x2 個 は別途 施工者様にてご準備願います。

- 1) リモコンは上カバーを外しておきます。
壁のリモコンを取り付ける場所にケーブルを通す穴を開けます。



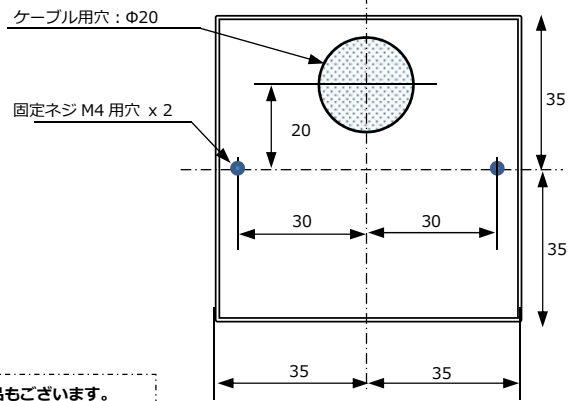
下側の2か所のツメをマイナスドライバーなどで外し、次に上側2か所のツメを外します。

リモコンの下パーツ



壁にケーブルを通す穴を開けます。

【参考】リモコン取り付け 壁側寸法

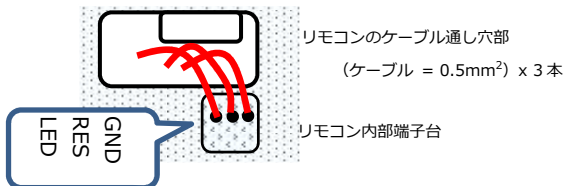


(外形寸法は、リモコン外形になります)

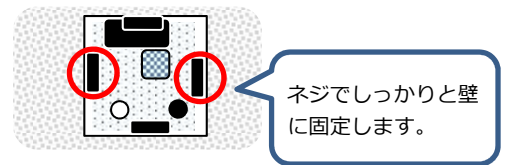
スイッチボックス取付用のオプション品もございます。



- 2) 壁穴からケーブルを通し、リモコン内部端子台に接続します。
機器本体の“GND”、“RES”、“LED” 端子とそれぞれ一致するように接続します。



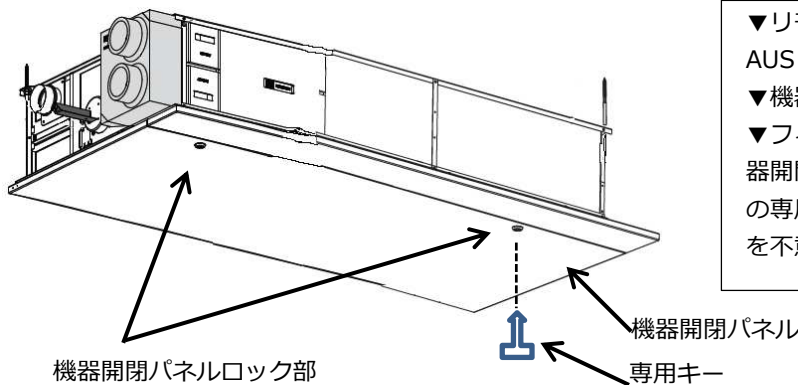
- 3) M4 ネジ 2 個を使い、リモコンの下パーツの左右にある固定ネジ穴の位置で壁にネジ止めし、上カバーを取り付けます。



ネジでしっかりと壁に固定します。



取扱取付説明書【5 項 メンテナンス】において、機器開閉パネルは下記にてお取扱い願います。



- ▼リモコンでは、ファン風量レベルのセレクトダイヤルをAUSの位置にセットしてください。
- ▼機器のブレーカをオフに切り替えてください。
- ▼フィルター交換など、機器のメンテナンスを行う際には、機器開閉パネルにある2箇所の機器開閉パネルロック部を、同梱の専用キーを使って開閉します。この際、この機器開閉パネルを不意に落下させないよう、ご注意ください。

17.7 仕様一覧表の補足

		LWZ 100 plus RE JP	LWZ 100 plus LI JP
有効換気量	%	98	98
音響パワーレベル	dB(A)	37 (@100m ³ /h)	37 (@100m ³ /h)
		43.3 (@155m ³ /h)	43.3 (@155m ³ /h)